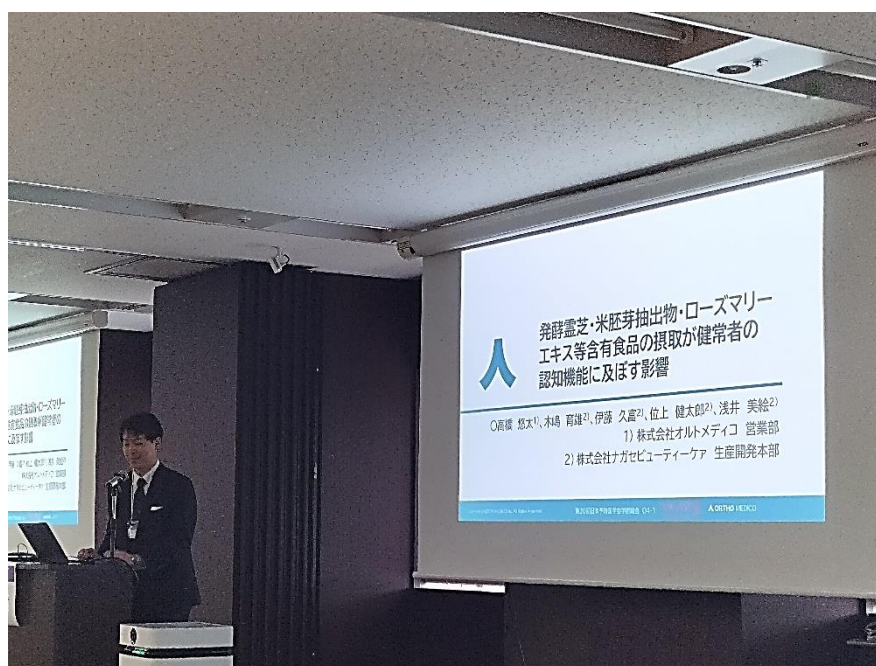


Press Release
報道関係者各位

2023 年 8 月 17 日
株式会社ナガセビューティケア

12 週間継続摂取により健常者の認知機能を有意に改善 認知症のリスクの低減の可能性を示唆 発酵霊芝・米胚芽抽出物・ローズマリーエキス等含有食品のヒト臨床試験結果報告

長瀬産業株式会社（本社：東京都中央区／代表取締役社長：上島 宏之）の 100%子会社である、株式会社ナガセビューティケア（東京都中央区日本橋本町 1-2-8／代表取締役社長：三原 康弘）は、株式会社オルトメディコ（本社：東京都文京区、代表取締役：山本 和雄）と共同で、発酵霊芝・米胚芽抽出物・ローズマリーエキス等含有食品の継続摂取におけるヒト臨床試験を実施いたしました。この食品の継続摂取により、健常者の認知機能を有意に改善し、認知症のリスクの低減に効果的である可能性を示唆しましたので、試験結果をご報告いたします。この報告内容は、2023 年 6 月 10、11 日に都内で行われた第 20 回日本予防医学会学術総会の発表内容から抜粋、要約したものです。



結論：本試験では、記憶力の衰えを自覚する 40 歳以上の健常な日本人男女（n=18 内除外 1）において、発酵霊芝・米胚芽抽出物・ローズマリーエキス等含有食品の 12 週間継続摂取による認知機能の改善*が確認された。したがって、発酵霊芝・米胚芽抽出物・ローズマリーエキス等含有食品は加齢にともなって衰える認知機能を維持する食品として有用であると考えられる。

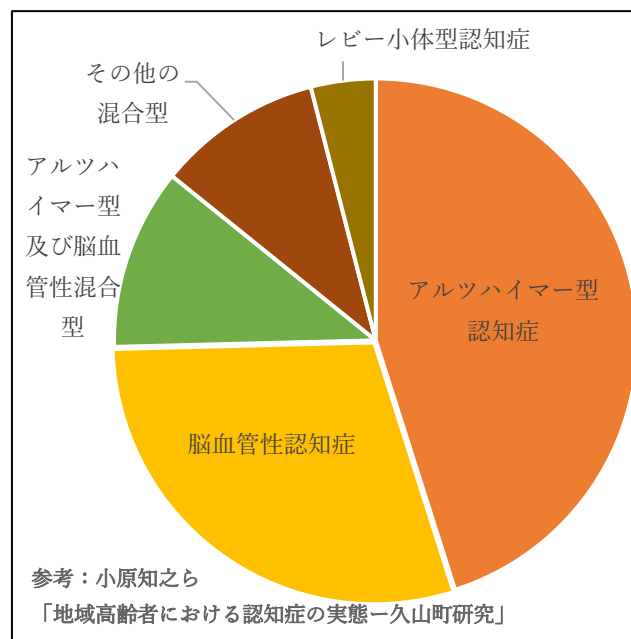
*米国の CNS Vital Sings 社が開発した認知機能検査技術（Cognitrax）を用い、広範囲の機能領域を測定するとともに、認知機能の自覚症状に関するアンケートを実施。

【研究背景】

人生 100 年時代と言われる、超高齢社会を向かえた日本では、加齢にともなって衰える認知機能を維持する簡便な方策が望まれている。認知症の大部分はアルツハイマー型及び脳血管性であり、65 歳以上の要介護者において介護が必要となった主な原因の約 20%が「認知症」となっている。

そこで今回、アルツハイマー型認知症の主な要因と考えられる、アミロイドβの蓄積、神経線維変化、及び脳血管性認知症の主な要因と考えられる、動脈硬化の進行の原因抑制に寄与する食品成分を複合的に含有するサプリメントを用い、健常者の認知機能の有意性、血管機能の改善、被験食品の安全性を確認する試験を実施。

具体的には、発酵霊芝、米胚芽抽出物、ローズマリーエキス、エンメイソウエキス、バコパエキス、タモギタケエキス、エラスチン、ヤマブシタケ子実体エキス、糖転移ヘスペリジンといった成分には、認知症原因分子の蓄積を抑制する作用や、血管機能を改善する作用が報告されており、これらの成分を含有した発酵霊芝・米胚芽抽出物・ローズマリーエキス等含有食品のヒト臨床試験を行った。



【目的】

本試験では、発酵霊芝・米胚芽抽出物・ローズマリーエキス等含有食品の 12 週間の継続摂取が、健常者の認知機能に及ぼす影響について検証した。

【方法】

対象は記憶力の衰えを自覚する 40 歳以上の健常な日本人男女（n=18）とし、単群の前後比較試験で実施した。被験食品は 1 日 2 包（1,410mg/包）を 12 週間摂取させた。評価項目は、認知機能検査（Cognitrax）、および認知機能の自覚症状に関するアンケートであった。また、身体測定、理学検査、尿検査、および末梢血液検査によって被験食品の安全性評価も行った。

【試験概要】

研究デザイン：単群非盲検

試験参加者：記憶力の衰えを自覚する健常な 40 代以上の日本人男女 18 名

被験食品：発酵霊芝・米胚芽抽出物・ローズマリーエキス等含有食品

介入：1 日 2 包（1,410mg/包）を任意のタイミングで 12 週間摂取

検査ポイント：摂取前、摂取 12 週間後

主要アウトカム：

1) 総合記憶力の標準化スコア

副次的アウトカム：

2) 各認知領域 {神経認知インデックス (NCI)、言語記憶力、視覚記憶力、認知機能速度、反応時間、総合注意力、認知柔軟性、処理速度、実行機能、社会的認知、論理思考、ワーキングメモリー、持続的注意力、単純注意力、運動速度} の標準化スコア

3) 認知機能の自覚症状に関するアンケート

安全性項目: 身体測定、理学検査、尿検査、末梢血液検査

本試験は医療法人社団盛心会タカラクリニック (東京都品川区) の倫理審査の承認を得たのち (承認番号: 2206-02233-0042-10-TC)、ヘルシンキ宣言および

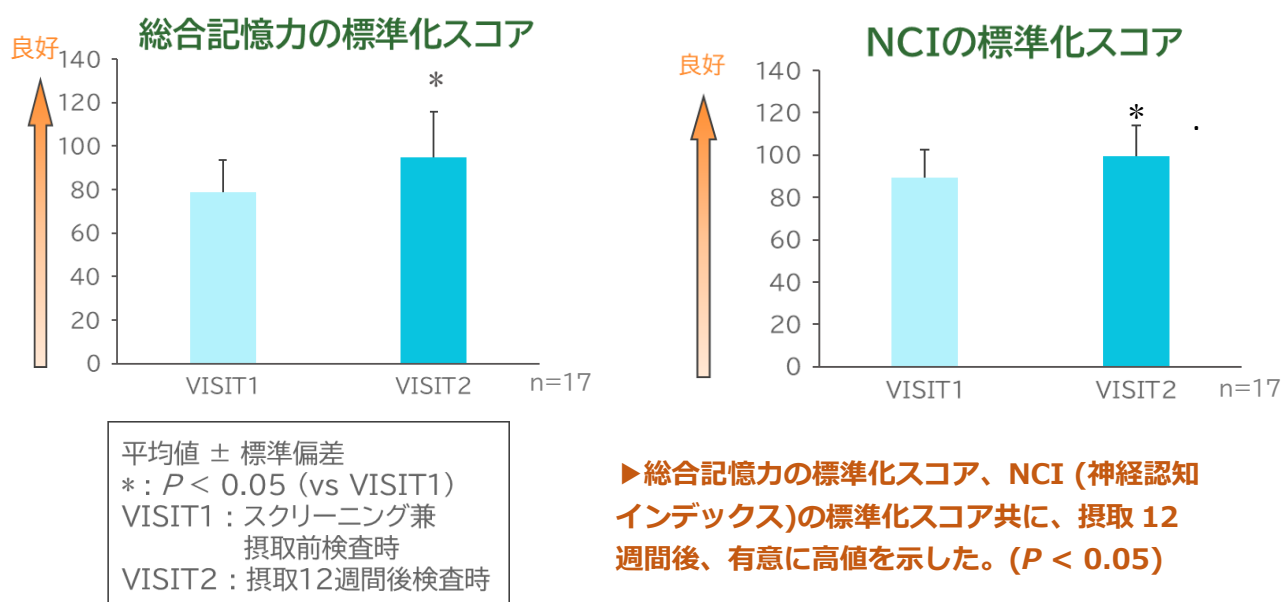
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則って実施された。

UMIN 試験 ID:UMIN000048134

【結果】

適格基準を満たした 18 例が本試験に組入れられ、介入を一度も受けなかった 1 例を除いた 17 例を解析対象者とした。認知機能検査では総合記憶力の標準化スコアや、神経認知インデックス、言語記憶力、視覚記憶力、認知機能速度、反応時間、認知柔軟性、処理速度、実行機能および運動速度の標準化スコアにおいて介入による有意な向上が確認され、被験食品の摂取に伴う認知機能の改善が確認された。また、被験食品の安全性に問題はなかった。

Cognitrax 16領域のうち複合的な領域の標準化スコア

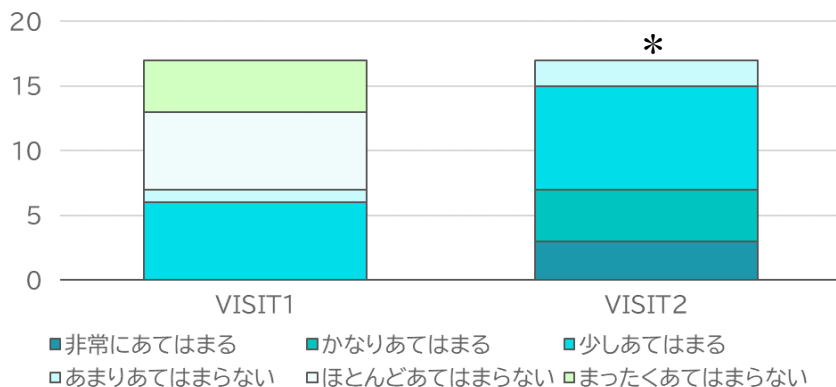


オリジナルアンケート

認知機能に関する自覚症状を 6 段階で評価するアンケート

最近のニュースや出来事を思い出して
人に伝えられますか

n=17



▶ 1 項目で有意な改善が見られた。

平均値 ± 標準偏差
*: $P < 0.05$ (vs VISIT1)
VISIT1: スクリーニング兼
摂取前検査時
VISIT2: 摂取12週間後検査時

【結語】

以上の研究結果から、発酵霊芝・米胚芽抽出物・ローズマリーエキス等含有食品を 1 日 2 包 (1,410mg/包) 12 週間継続摂取することにより、健常者の認知機能を有意に改善することを確認し、認知症のリスクの低減の可能性を示した。今後更なる研究・試験を継続的に行い、加齢にともなって衰える認知機能を維持する簡便な対策の発展に貢献していきたいと考える。

<この件に関するお問い合わせ先>

株式会社ナガセビューティケア

お問い合わせにつきましてはメール(pr@nagase.co.jp)へご連絡を頂けますようお願い申し上げます。

株式会社ナガセビューティケア 広報担当: 及川、中澤 (080-2525-1721)

HP アドレス: <https://nbc.jp>